

# マルサの女 (A Taxing Woman)

観賞日 2023年7月24日 上映時間 127分

## 【概要】

制作 1987年

監督 脚本 伊丹十三

撮影 前田米造

音楽 本多俊之

出演 宮本信子 (板倉亮子)、山崎努 (権藤英樹) 津川雅彦 (花村)

小林桂樹 (査察部管理課長)、大滝修治 (露口)、太地康夫 (伊集院)

芦田伸介 (蜷川喜八郎)、岡田茉莉子 (杉野光子)、室田日出男 (石井社長)



## 【あらすじ】

バブル経済華やかかりし頃、港町税務署調査官でシングルマザーの板倉亮子は利益率の高いラブホテル業界に目を付ける。手始めに権藤商事の社長、権藤英樹に面会し調査を開始する。しかし、敵もさるもの、決して尻尾を出さない。やがて、やり手の亮子は国税局査察部（通称マルサ）に栄転する。権藤の元愛人からタレコミがあり、新しい上司の花村とともに再び権藤商事の案件を担当する亮子。来る日も来る日も地味な内偵調査を続ける査察部の面々。ようやく、証拠固めが終了し、いよいよガサ入れの当日、権藤邸他に一斉に踏み込むマルサの一団。果たして、亮子たちは動かぬ証拠を見つけられるのか？

刑事ドラマより面白い。隠す者と見つける者の血みどろの戦い。マルサという言葉在世間に知らしめた話題作。

## 【解説】

### ■ポイント

- 伊丹十三作品の中でも最も評価の高い作品

50歳を過ぎて監督に転身した伊丹十三の作品全10本のなかでも最も評価の高い作品。〇〇の女シリーズの第1作。

- 主演女優宮本信子（1945年生れ）

北海道出身。1963年文学座研修生、劇団青俳で研鑽を積む。69年に伊丹十三と結婚。84年の「お葬式」以降、伊丹作品の全部に出演

- 受賞（第11回・1988年日本アカデミー賞）

下記の通り、主要6部門を受賞

作品賞、監督賞、主演男優賞（山崎努）、主演女優賞（宮本信子）、助演男優賞（津川雅彦）  
脚本賞

### ■見どころ

- 伊丹作品らしいリアルでコミカルな展開

証拠品の隠し場所

- 本多俊之作曲によるテーマソング

特徴のある軽快で耳に残るメロディー